

NPO法人

パンドラの会



NO.17 平成13年11月22日

<NPO 法人になって半年>

NPO 法人の認証を受けて早半年が過ぎようとしています。その間にパンドラの会は大きく変わりました。法人になったことで社会的信用がより高まり、それに伴いより多くの情報が入るようになりました。多くの情報が入れば、活動は必然的に活発化してゆきます。今ではおかし工房の見学者がない月はありませんでした。愛知県周辺の障害者をもつお母さん達が、私達の活動を参考にしたいと、おかし工房を訪れてくださいます。4月に見学を訪れた高次機能障害の方で結成された「フレンズ」のメンバー達は、私達の活動を参考に瀬戸市に活動の拠点をたちあげられました。案内を頂き開所式に伺いましたが、大勢のボランティアさんや、会を支える方々が大勢みえとても活気があり、少しはお役に立てたな？と嬉しく思いました。又8月 第18回共同連全国大会にパネラーとしての参加を要請されました。「おかし工房パンドラの実情を話してもらえないか」との要請を受け発表してきました。主に企業の社会貢献部門とどのように関わりながら、販売をつないでいくかを発表しました。またインターネット上で、NPO 関連のところに掲載された事もあり、NPO 法人パンドラの会の知名度は一段と大きくなりました。

これからは NPO がさらに社会に認められつつ、力をつけていくと思っています。企業の側も寄付のみを依頼されるのではなく、違ったかたちでの貢献を望んでいるように思います。私達は NPO の定款でも謳っているように、営利を目的とせず、社会に役立つ組織として NPO 法人を育て、発展させていかなければならないと考えています。

NPO 法人パンドラの会は、障害者が一般社会の中で何不自由なく、暮らして行けるような社会の実現を目指して活動していきます。NPO の先進国アメリカとは違い NPO の歴史の浅い日本では、行政からの助成金も少なく、新しいスタッフを雇用する運営資金も自分達で造

ってゆかなくてはなりません私達は財政基盤の確立なくして NPO 法人は成り立たないと考えています。民間の活力で社会貢献し、その理念の実現のために、精一杯努力している NPO に対し、行政も少しは支援してもよいのではないかと思う事があります。私達は日本にあるピンからキリまでの NPO の中でも、ピンの NPO を目指して行きます。それには財政基盤の確立こそが、必須となってきます。行政に対しより強く支援を求めていくつもりです。来年の4月にはさらに4名の障害者がこのおかし工房で働くことを希望しています。その人たちのためにもきちんとした土台造りが大切と考えています。

<NPOパワーアップセミナーに参加>



10月26日・27日の二日間、岐阜の長良川のホテルで、日本 NPO センターの主催する「NPO パワーアップセミナー」が開催され、聴講してきました。

セミナーとあって、午前10:00～午後5:00までじっくり、NPO の理念、今後の NPO のありかた又、マネジメントなどとても有意義な講義でした。立派に社会に貢献できる NPO 法人とは、確立された組織力、有能な人材、財政基盤、この三点を持ち合わさなくてはいけないことがよく理解できました

NPO は、お金が出来たから、次の事業を始めようではありません。理念に基づき、お金のあまるなしに関わらず、事業を展開していくことが求められています。居心地のよい社会にするために、市民一人一人が、何がどう必要なのかを、市民の身になって考え行動する組織が必要とされます。そしてその社会を実現させる組織が、NPO 法人なのだということをあらためて感じました。NPO 法人は、常にアンテナを張り巡らせ、社会の動きに敏感に反応しながらも、自己の理念を忘れず、活動を続けなければいけないと思います。パンドラの会も理念に基づき、障害者福祉の分野において、活動を進めなくてはならないと思っています。又このセミナーに参加し学んだことの一つに、企業と NPO、の関係が有ります。この関係がよい方向にすすめばもっと日本でも力のある NPO が育って行くと思います。企業に興味をもたせるような、プロジェクトを考え、具体的に企業に何を期待するかを訴えていかななくてはならないと思いました。これからは、この事も考えに入れて活動をして行きたいと思っています。

<刈谷市「福祉フェスティバル」で今年も完売>

10月21日に行われた刈谷市福祉フェスティバルにおいて、皆様のご協力により昨年を上回る25万円の売上を記録し、用意したお菓子は全て完売いたしました。皆様有難うございました。「おかし工房パンドラ」のお菓子の評判は良く、多くの方が「美味しいからね」と言ってくれます。これからも味を落とさず、美味しいお菓子を作りつづけたと思っています。同時に行いました「楽しいクッキーづくり」コーナーも大評判で、整理券もあっという間に無くなってしまいました。今回参加されなかった方は、来年是非参加してください。

{秋のバザー好評のうち終了予定}

9月より突入しました秋の学校・市のイベントバザーもそろそろ終了を迎えようとしています。お蔭様でどの売り場に行かせていただいても、良く売れます。今年は特にチーズケーキとチョコケーキが人気の中心です。これは12月のクリスマスケーキの人気につながるのではないかと大いに期待しています。出張販売だけでなく、バザーで買っていただいたお客様が、お店にも訪れてくださいます。とてもありがたいことだと感謝しています。常設の刈谷総合病院生協売店でもパンドラコーナーのお菓子の売れ行きはとても順調です。これからも会員一同美味しいケーキ作りに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

<日立システムさんよりパソコンの寄贈>



9月28日株式会社日立システムさんよりパソコンとプリンターの寄贈がありました。プリンターは、新品のレーザープリンターで驚くほど早く静に印刷が出来ます。これで、ますます仕事ははかどりとても助かります。日立システムさんどうも有難うございました。

第6回 パンドラの会絵画展開催

今年も待ちに待った絵画展が刈谷市美術館で開催されます。

昨年よりもさらに感性に磨きをかけた子供達の絵が会場に並びます。今年は会場がこれまでの倍の広さのため、講師・川崎泰子先生の豊田教室の皆さんにも参加協力いただきました。経った5日間の展示ですが是非見ていただきたく思います。何か皆様の心に強く残るものがあると信じています。

日時	12月11日～16日（日）	10：00～16：00
場所	刈谷市美術館	一階

＜刈谷市立南中学校特殊学級より、

現場実習生受け入れる＞

10月22日（月）から25日（金）までの5日間、2年生の女の子が「おかし工房パンドラ」に現場実習にやってきました。この実習は生徒さんの親御さん及び生徒さん自身が、実習先を希望されたとの事を聞き、嬉しく思いました。又学校側も実習先にふさわしい事業所として認めて下さったと思います。安城養護学校はパンドラのメンバーが、ほぼ全員お世話になっていることもあり、実習先として認めていただいていたのですが、刈谷市内の公立学校の生徒さんを受け入れたのは初めてです。実習後、先生から生徒さんが、実習で経験したことが、学習にもよい影響をもたらしたとお聞きしています。又先生も、NPO法人パンドラの会を理解していただき、職員会の時に他の学校にも啓蒙をしてくださったそうです。こうして一つ一つ、階段を上るように実績を積み重ねていけば、いつかきっともっと広く、多くの賛同者を得られると信じています。焦らず、確実に前を向いてすすんで行きたい。そうすればパンドラの会はゆるぎないものとなるでしょう。



ご協力有難うございました

企業社会貢献

ジャスコ株式会社

マックスバリュ刈谷店にて、11月20日(火)店頭販売をさせて頂きました。これからも定期的にさせて頂いただけるとのこととても助かります。売り上げだけでなく、障害者が町の中にでてゆく場所がまた一つ増えたことが前進だと考えます。売り上げの-marginも全く払う必要がないとのことで、感謝しています。

もう一つは、マックスバリュが独自で行っている社会貢献として、毎月イエローレシートの日があります。それは、マックスバリュが認めた団体のみ、各団体のボックスにお客様が入れてくださったレシートの1パーセントを寄付して頂くことになっています。これもとてもありがたいことです。

皆様イエローレシートは NPO 法人パンドラのボックスにお願いいたします。

賛助会員 上東章様 上東登代様 伊藤洋子様 藤井清司様

三浦まゆ美様 山本幸江様